

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公開番号】特開2008-15517(P2008-15517A)

【公開日】平成20年1月24日 (2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-169112(P2007-169112)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/00 E

G 0 2 F 1/1335

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月25日 (2010.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

__投影器のための光学システムであって、

ソース照明ビームを生成するために適切な少なくとも 1 つの照明ソース；

前記ソース照明ビームを、第 1 方向に沿って直線偏光された第 1 照明ビーム及び前記第 1 方向に対して垂直方向に偏光された第 2 照明ビームに分割する少なくとも第 1 偏光ビームスプリッタ；

__前記第 1 方向に沿って直線偏光された第 1 カラービームにより照明され、第 1 イメージングビームを生成する第 1 イメージャ；並びに

前記第 1 方向に対して垂直偏光された第 2 カラービームにより照明され、第 2 イメージングビームを生成する第 2 イメージャ；

を有する、光学システムであり、

当該光学システムは、各々の瞬間に異なる色を有する前記第 1 カラービーム及び第 2 カラービームのそれぞれを生成するように、各々の瞬間に異なる色の色セグメントに関連付けられた 2 つの異なる領域において、偏光された前記第 1 照明ビーム及び前記第 2 照明ビームと交差する少なくとも 1 つのカラーホイールを更に有する；

ことを特徴とする光学システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の光学システムであって、第 3 イメージングビームを生成するように、前記第 1 イメージングビームを前記第 2 イメージングビームと結合するために適切な少なくとも第 2 偏光ビームスプリッタを有する、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の光学システムであって、前記 2 つの異なる領域は、各々の瞬間に、補色の色セグメントに関連付けられる、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載の光学システムであって、前記 2 つの異なる領域の 1 が緑色の色セグメントに関連付けられる瞬間に、他の領域は赤色の色セグメントに関連付けられ、前記 2 つの異なる領域の 1 が黄色の色セグメントに関連付けられる瞬間に、他の領域は青色

の色セグメントに関連付けられる、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 イメージャ及び前記第 2 イメージャは L C O S 型である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 イメージャ及び前記第 2 イメージャは透過型 L C D である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 偏光ビームスプリッタはグレーティング偏光子型である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 偏光ビームスプリッタはダイクロイック型である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の光学システム及び少なくとも 1 つの投影対物レンズを有する投影器。